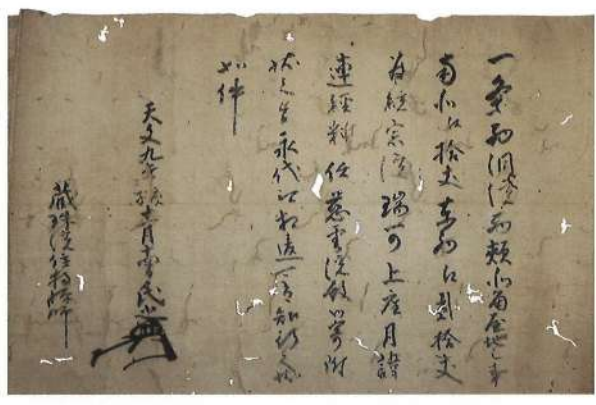


阿波戦国絵巻

細川・三好・長宗我部・蜂須賀

I 阿波守護細川家の時代



「細川氏之判物」 讃州寺蔵

「戦国時代」、それは室町幕府の威光が衰えてゆくなか、権力の維持をはかる旧来の勢力と、新たに成長を遂げた新興勢力とが入り混じり、全国各地で火花を散らした動乱の時代です。ここ阿波の地においても、太平の江戸時代が訪れる以前は、数多くの群雄たちがぶつかり合い、覇を競っていました。本展では、近年目覚ましい進展をみせる四国・畿内の戦国時代研究を土台とし、阿波の歴史にその名を刻んだ諸勢力の興亡を、様々な資料によって描き出していきます。

III 動揺する阿波三好家

II 三好一門の隆盛



「風炉」 藍住町教育委員会蔵
勝瑞遺跡出土品



「武田菱紋緋羅紗陣羽織」
高知県立歴史民俗資料館蔵
伝香宗我部親泰所用

V 秀吉の四国介入と蜂須賀氏入国



「三好長治判物」 木戸家蔵

IV 三好 VS 長宗我部



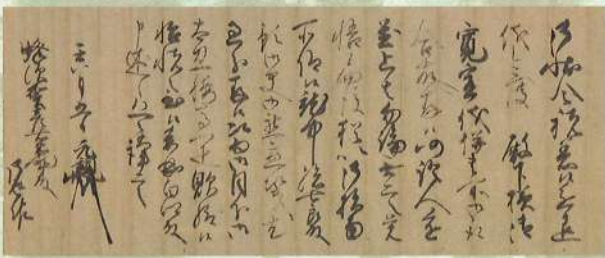
「一ノ宮古城之図」 四国大学附属図書館蔵



錦絵「大日本六十余将 阿波三好修理大夫長慶」
徳島博物館蔵（東條英機氏寄贈）



「革包伊予札菱綴二枚胴具足」 大阪城天守閣蔵
伝仙石秀久所用



「長宗我部元親書状」 徳島博物館蔵